



平成26年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 日本農薬株式会社
 コード番号 4997 URL <http://www.nichino.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部総務部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 神山 洋一
 (氏名) 飯島 豊和

TEL 03-6361-1400

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第3四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第3四半期	45,933	18.8	9,482	26.6	9,381	30.1	6,310	32.7
25年9月期第3四半期	38,662	13.0	7,489	79.8	7,208	73.7	4,755	96.6

(注)包括利益 26年9月期第3四半期 6,571百万円 (14.1%) 25年9月期第3四半期 5,761百万円 (145.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第3四半期	94.38	—
25年9月期第3四半期	71.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第3四半期	74,525	61.0	45,723	61.0	—	—
25年9月期	59,068	67.7	40,235	67.7	—	—

(参考)自己資本 26年9月期第3四半期 45,481百万円 25年9月期 40,014百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	4.50	—	8.50	13.00
26年9月期	—	6.50	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	6.50	13.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,000	17.6	8,900	19.5	8,800	23.2	5,800	23.0	86.76

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
(注)詳細につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年9月期3Q	70,026,782 株	25年9月期	70,026,782 株
② 期末自己株式数	26年9月期3Q	3,186,014 株	25年9月期	3,143,864 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年9月期3Q	66,854,667 株	25年9月期3Q	66,924,486 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の金融政策や経済対策の効果を背景に企業収益が改善し、設備投資の増加や雇用情勢の改善などがみられました。また、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の影響は限定的な様相であり、各種経済政策の効果による持ち直しの動きがみられるなど緩やかな回復基調で推移しました。

しかしながら、景気の先行きは米国の金融緩和縮小の影響、中国やその他新興国経済の成長鈍化など海外経済の下振れ懸念から依然として不透明な状況にあります。

このような状況下、当社グループは自社開発品目の普及拡販や海外事業の拡大を目指しました。当第3四半期連結累計期間の売上高は459億33百万円(前年同期比72億71百万円増、同18.8%増)となりました。利益面では増収効果に加えノウハウ技術料の増加もあり、営業利益は94億82百万円(前年同期比19億93百万円増、同26.6%増)、経常利益は93億81百万円(前年同期比21億73百万円増、同30.1%増)となり、四半期純利益は63億10百万円(前年同期比15億54百万円増、同32.7%増)となりました。

当第3四半期連結累計期間における報告セグメントの概況は以下のとおりです。

[農薬事業]

国内農薬販売では、新製品7剤の販売を開始し、品目ポートフォリオの拡充を図るとともに、園芸用殺虫剤「フェニックス」、「コルト」を始めとする自社開発品目の普及拡販に努めました。農薬原体販売では園芸用殺虫剤「コテツ」、「ハチハチ」などの主力品目の販社への出荷が好調に推移しました。また、第2四半期までの消費税率引き上げに伴う前倒し需要の発生もあり国内販売全体の売上高は前年同期を上回りました。

海外農薬販売では、アジア地域の主要市場である中国および韓国での病害虫の小発生や天候不順による過年度の流通在庫などから売上高が伸び悩みました。一方、米州ならびに欧州では販売が好調に推移しました。品目別では米国で殺ダニ剤「ダニトロン」が昨年のダニの多発生から荷動きが早まり売上高が伸長しました。さらに、フェニックス原体の販売増加や為替が円安基調で推移したことなどから、海外販売全体の売上高は前年同期を上回りました。

これらの結果、農薬事業の売上高は421億25百万円(前年同期比67億80百万円増、同19.2%増)となり、営業利益は86億80百万円(前年同期比19億7百万円増、同28.2%増)となりました。

[農薬以外の化学品事業]

化学品事業では、シロアリ薬剤の出荷が順調に推移するとともに、本年1月に発行済株式数の100%を譲り受けた株式会社アグリマートを連結の範囲に含めたこともあり、売上高は前年同期を上回りました。また、医薬品事業では外用抗真菌剤「ルリコナゾール」が昨年中国ならびに米国での販売の承認を取得し、今期より販売を開始したことから売上高が伸長しました。

これらの結果、農薬以外の化学品事業の売上高は24億15百万円(前年同期比5億58百万円増、同30.1%増)となり、営業利益は9億36百万円(前年同期比2億15百万円増、同29.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ154億56百万円増加し、745億25百万円となりました。これは、売上債権の増加が主な要因です。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ99億68百万円増加し、288億1百万円となりました。これは、仕入債務の増加及び短期借入金の増加が主な要因です。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ54億88百万円増加し、457億23百万円となりました。これは、四半期純利益による利益剰余金の増加が主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年9月期の連結業績予想につきましては、平成26年4月22日に開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しませんが、第2四半期連結会計期間より、株式会社アグリマートの議決権を100%取得したため、同社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,860	6,998
受取手形及び売掛金	12,455	23,504
電子記録債権	—	456
有価証券	5,000	—
商品及び製品	5,819	8,131
仕掛品	462	326
原材料及び貯蔵品	1,744	2,304
その他	1,936	9,915
貸倒引当金	△3	△32
流動資産合計	39,277	51,605
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,633	4,707
機械装置及び運搬具(純額)	1,860	1,681
土地	5,565	5,565
その他(純額)	1,100	1,179
有形固定資産合計	13,161	13,133
無形固定資産		
のれん	—	2,613
その他	921	885
無形固定資産合計	921	3,499
投資その他の資産		
投資有価証券	4,286	4,928
その他	1,436	1,373
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	5,707	6,286
固定資産合計	19,790	22,919
資産合計	59,068	74,525

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,771	6,569
電子記録債務	469	843
短期借入金	894	8,563
未払法人税等	1,949	1,878
賞与引当金	661	324
営業外電子記録債務	114	232
その他	4,929	4,831
流動負債合計	12,791	23,242
固定負債		
長期借入金	2,100	1,800
退職給付引当金	1,912	1,828
その他	2,027	1,930
固定負債合計	6,040	5,558
負債合計	18,832	28,801
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,939	10,939
資本剰余金	13,235	13,235
利益剰余金	16,374	21,681
自己株式	△1,665	△1,723
株主資本合計	38,884	44,133
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,090	1,240
為替換算調整勘定	39	106
その他の包括利益累計額合計	1,130	1,347
少数株主持分	220	242
純資産合計	40,235	45,723
負債純資産合計	59,068	74,525

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
売上高	38,662	45,933
売上原価	22,155	25,988
売上総利益	16,506	19,944
販売費及び一般管理費	9,017	10,462
営業利益	7,489	9,482
営業外収益		
受取利息	5	7
受取配当金	54	63
不動産賃貸料	54	56
持分法による投資利益	39	50
その他	46	61
営業外収益合計	201	239
営業外費用		
支払利息	35	52
為替差損	233	111
たな卸資産廃棄損	116	45
その他	97	131
営業外費用合計	482	340
経常利益	7,208	9,381
特別利益		
投資有価証券売却益	25	—
その他	0	—
特別利益合計	25	—
特別損失		
固定資産処分損	49	16
特別損失合計	49	16
税金等調整前四半期純利益	7,185	9,364
法人税等	2,395	3,015
少数株主損益調整前四半期純利益	4,789	6,349
少数株主利益	34	39
四半期純利益	4,755	6,310

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,789	6,349
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	705	150
為替換算調整勘定	256	48
持分法適用会社に対する持分相当額	9	23
その他の包括利益合計	971	221
四半期包括利益	5,761	6,571
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,692	6,526
少数株主に係る四半期包括利益	68	44

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	農薬	農薬以外の 化学品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	35,344	1,857	37,202	1,459	38,662	—	38,662
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	—	4	662	666	△666	—
計	35,349	1,857	37,206	2,122	39,329	△666	38,662
セグメント利益	6,773	721	7,494	400	7,894	△405	7,489

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、造園緑化工事、スポーツ施設経営、不動産の賃貸、物流サービス、農薬残留分析ほかを含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△405百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△440百万円、未実現利益の調整等35百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	農薬	農薬以外の 化学品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	42,125	2,415	44,541	1,391	45,933	—	45,933
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	—	4	681	685	△685	—
計	42,130	2,415	44,545	2,073	46,618	△685	45,933
セグメント利益	8,680	936	9,617	301	9,918	△436	9,482

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、造園緑化工事、スポーツ施設経営、不動産の賃貸、物流サービス、農薬残留分析ほかを含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△436百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△465百万円、未実現利益の調整等28百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「農薬」セグメントにおいて、平成25年10月に I S E M社（イタリア）との間で I S E M社が所有する除草剤「オルトスルファミロン」を譲り受け、また「農薬以外の化学品」セグメントにおいて、平成26年1月に株式会社アグリマート（旧 アリスタライフサイエンスアグリマート株式会社）の株式を取得したことにより、のれんが発生しております。当第3四半期連結累計期間におけるのれんの増加額は2,613百万円であります。